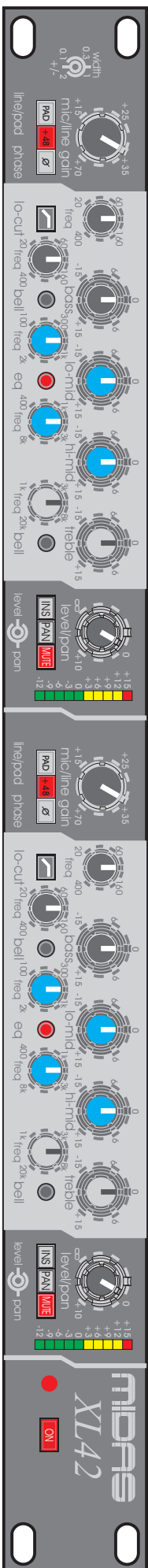


MIDAS XL42



相似の宣言

この宣言により指示は保護されます

92/31/EEC&93/68/EECにより改正された89/336/EEC電磁波互換性指示

機器タイプ

製品名

マトリックスミキサー

XL88

デュアル プリチャンネル マイクロフォンアンプ&イコライザー

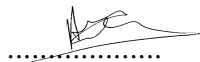
XL42

原則的に相似が宣言されてます。

上記の製品は、以下の標準を満たしていることによって上記のEU指示の要件に従う製品です：

EN55013: 1990

EN50082: 1992

Signed:  Alex Cooper

Authority: Project leader

Date: 28th November, 1995

注意！

購買者、設置者、ユーザーは、これらの機器を使用するには、上記の指示書の指示に従わなければなりません。使用の際にはこれらの特別な規定および制約の詳細は、請求があればお送りしますが、製品の取扱説明書にも記載されています。

注意！

ケーブル

この製品は、金属性の3ピンXLRコネクタで製作された、高品質のシールドされたバランスオーディオケーブルを使うことをお勧めします。ケーブルのシールドは、PIN-1に接続されていなければなりません。

電磁界

もし可聴周波数信号（20Hz から20kHz まで）の電磁界などでこの製品が使われるならば、信号から見たノイズ比率は低下するでしょう。厳しい条件下（3V/m、90%変調）では、変調信号に相当する周波数によりますが60dB以上の劣化にて動作するでしょう。製品の性能の低下や損傷は、これらの条件により起こる物ではありません。

MIDAS製品をご利用頂き誠に有難うございます。

最大の性能をこの精密なエレクトロニクス製品から得るためには、どうぞ、この手順を慎重に読んでください。XL42の設置や操作が複雑であることでなく、その操作、機能、長所を熟知することにより、そのコントロールと接続により提供される柔軟性を理解することができます。このユニットは、地域で使用する電源状態に従うために準備されました。

用心のために

このユニットを、過度な熱、塵、またはメカニカルな振動がある場所への設置は避けてください。ユニットを電源に接続させる前に、使用する地域で供給される電圧が正しいことを確認してください。もし別の電圧設定が必要ならば、以下の手順に従うことは重要です：

電圧の選択と電源接続

接続はIEC 標準パワーソケットによって行なわれます。リアパネルの指示書は、ユニットの必要な電圧を示してあります。

このユニットを電源に接続する前に、ヒューズが正しいタイプであるか確認してください。ヒューズの値は、リアパネルのヒューズホルダーの隣に示した通りです。

使用する電源電圧を変更するには、どうぞ、購入元、代理店、販売店にご相談ください。

* 電源電圧調節は資格のあるサービスよりだけが行なわなければなりません。

安全のための警告

このユニットは3ピンパワーソケットを取り付けられます：安全理由のために、アース線の接続を必ず行なって下さい。もしアースループの問題が発生したならば、ユニットの中にあるグラウンド-リフトのリンクを、シャーシアースから信号アースを分離するために取除かなければなりません。通常、グラウンディングの問題はXL88によって起こる事はありません。すべてのピン1は共通にしているのならば、アースとは直接設置していません。ほとんどの問題が、XL88と接続された他機器のグラウンド共通により起こされます。アースリフトについては、26ページを参照してください。

ショックまたは火危険を防止するためには、ユニットを雨または湿度にさらさないでください。

電気ショックを防ぐためカバーを外すのはお止めください。有資格者だけにサービスを受けてください。

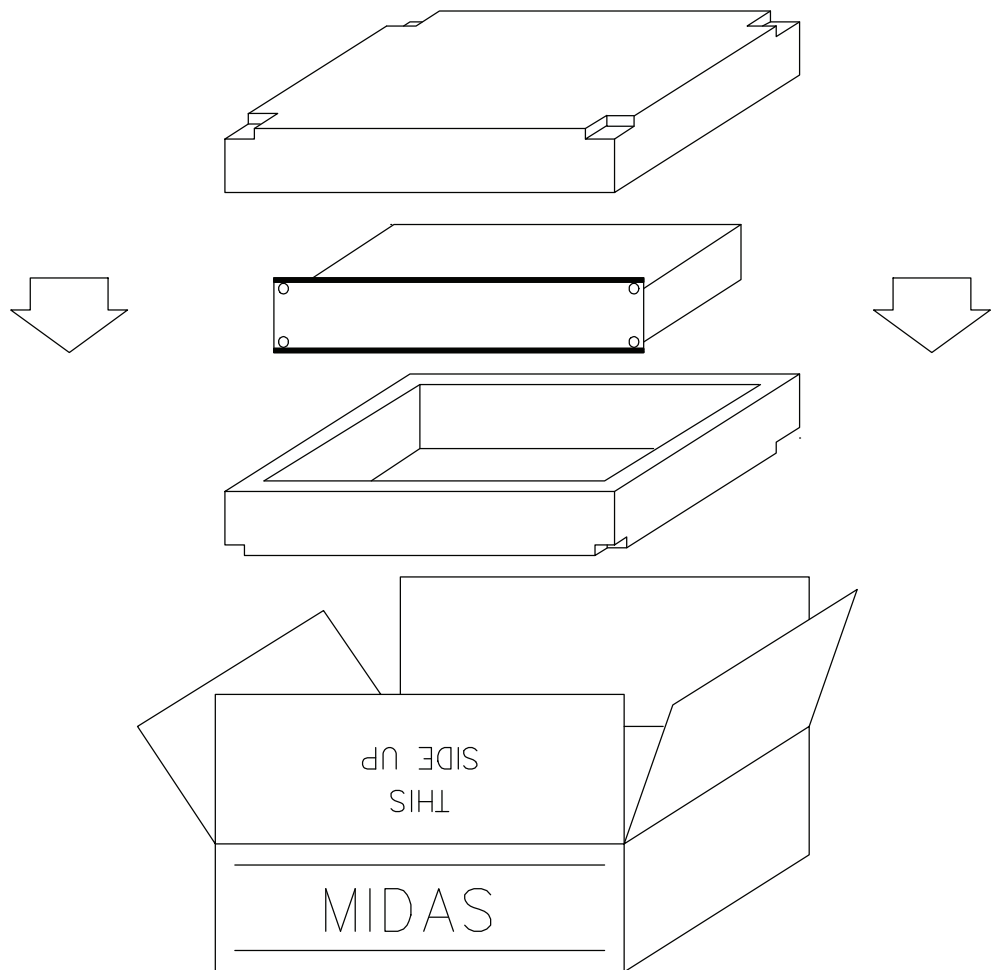
ユニットを開封した後

すべて梱包材は大切に保存して置いてください。この製品を今後サービスを受けるために送り返す可能性があるかもしれないからです。

どうぞ、輸送途中に損傷を受けた形跡がないかを慎重に確認してください。この商品は、梱包する前に、厳格な品質管理検査とテストを行い、完全な状態で工場を出荷しています。

もし、この製品に損傷の形跡がありましたら速やかに運送業者に届け出てください。輸送途中の損傷に関しては、荷受人であるあなただけが輸送会社に対して主張（クレーム）を発生させることができます。

必要ならば、代理店、または、Klark Teknik 輸入代理店に連絡をしてみてください。どのような事態に対しても十分に協力をさせていただきます。



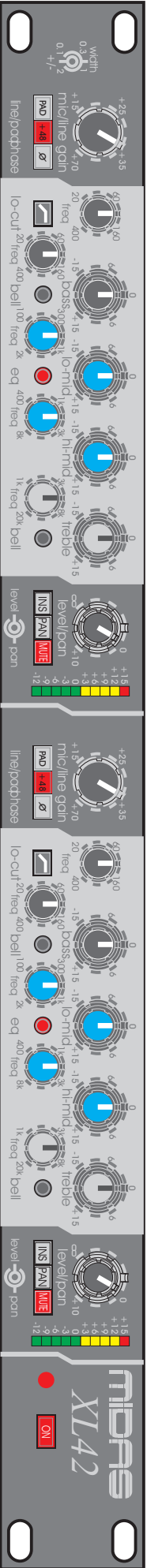
はじめに

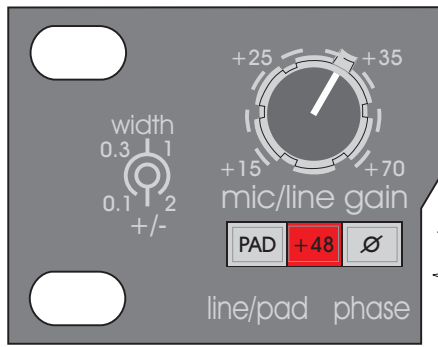
Midas XL42は、1Uサイズラックマウント、XL4 mic/lineプリアンプと48Vファンタム電源と共に混ぜ合わせた、デュアルチャンネルクリエイティブイコライザーです。それぞれのチャンネルには、入力、出力、PANコントロール、10セグメントLEDメーターと切換え可能なセンド/リターンポイントがあります。また個々のチャンネルには、DIPスイッチがリアパネルにあり、XLシリーズコンソールのオートミュートマスターからオートミュートシーンのコントロールを可能にします。

「デジチェン」機能により、複数台のユニットを組み合わせたカスタムミキシングコンソールを作り出すことができます。互いにリンクした時、合計された信号が出力され、分離したL&Rチャンネルを作り出します。

XL42は、コンソールのインサートとして、又は、選ばれたプログラムにMidas EQを入力に追加して使うことができます。追加の場合、もし要望を提示し、例えば、マスターコンソールに10チャンネルの入力を追加が必要な場合、5台のXL42は、必要とするダイナミックプロセッサとXL42のインサートポイントにインサートして、デジチェンした10チャンネル2出力のカスタムミキサーとして、一緒にラックマウントさせることができ出来ます。最終なL&Rの出力は、マスターコンソールの都合の良いポイントに繋ぐことができます。例えば、AUXリターン、グループサブ入力、マトリックスサブ入力など。。。。。

単体で使用した場合でも、XL42は、要望のあるハイクオリティなフロントエンド、例えば、ステレオレコーディングなどの使用にふさわしく理想的です。





MICコントロールは、インプットゲインを+15dBから+70dBまで継続的に調整を与えます。

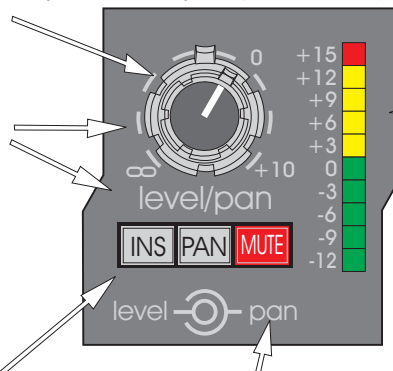
PHASEスイッチは、入力信号に180°位相変化を与えます。

48Vスイッチは、48Vファンタム電源をコンデンサマイクホンまたはDIボックスに入力を適応するために接続します。

LINE/PADスイッチは25dBのあつてネーターを入力信号に与えて、高い出力のマイクホンまたはラインレベル信号の接続を可能にします。
もしマイクアンプがトランス結合（オプション）であるならば、パッドは超低周波での飽和のリスクを大いに減らします。

LEVELコントロール（内側のノブ）は、チャンネルのアウトプットレベルをコントロールします。リンクインプットはこのコントロールに対してプリ（デフォルト）か、ポストにすることが出来ます。

PANコントロール（外側のノブ）は、ステレオミックスの左/右のアウトプットに入力チャンネルを定位させます、センターポジションで-3dBになる電力一定型（コンスタントパワー）です。



METERは、チャンネルのピーク信号レベルを表示します。デフォルトでは、出力レベルとPANコントロールの後を表示します。内部の設定で、レベル、PAN、インサート前にする事も出来ます。

INSスイッチは、入力インサートリターン信号を入力チャンネルのプリ又はポストイコライザーに接続します。（内部で切換え可能、デフォルトはプリ）

MUTEスイッチはチャンネルをミュートします。リンク入力を使う時、これは内部のジャンパーでプリ又はポストミュートにできます。デフォルトはプリです。MUTEは、リアパネルのディップスイッチを切り換えて、オートミュートリンクによりコントロールすることが出来ます。

ONスイッチは、ユニットのメイン電源を与え、LEDは表示します。



BASS (デュアル同軸の上部) コントロールは、0dBにセンタークリックを持ち、+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続的に調整を与えます。

HI-MID&LO-MID (デュアル同軸の上部) コントロールは、0dBにセンタークリックを持ち、+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続的に与えます。

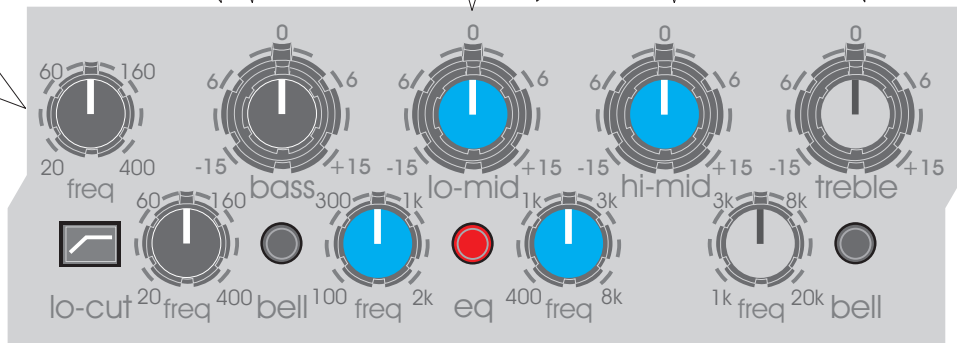
TREBLE (デュアル同軸の上部) コントロールは、0dBにセンタークリックを持ち、+15dBから-15dBまでのブーストとカットを連続的に与えます。

ベースWIDTH (デュアル同軸の下部) コントロールは、0.5オクターブにセンタークリックを持ち、0.1から2オクターブのバンド幅を連続的に調整を与えます。この動作は、BELLスイッチがアクティブな時だけです。

hi- mid & lo-mid のWIDTH (デュアル同軸の下部) コントロールは、0.5オクターブにセンタークリックを持ち、0.1から2オクターブのバンド幅を連続的に調整を与えます。

トレブルWIDTH (デュアル同軸の下部) コントロールは、0.5オクターブにセンタークリックを持ち、0.1から2オクターブのバンド幅を連続的に調整を与えます。この動作は、BELLスイッチがアクティブな時だけです。

LO-CUTフィルタコントロールは、20Hzから400Hzまで連続的に調整可能です。



LO-CUTスイッチはローカットフィルタを使用可能にします。

ベースFREQコントロールは、ベースイコライザーが作用する周波数範囲を20Hzから400Hzまで連続的に調整を与えます。

ベースBELLスイッチは、ベースイコライザーを、伝統的なMIDASシェルビング反応から完全なパラメトリックオペレーションに換えます。

EQスイッチは入力チャンネル信号にイコライザーを接続します。

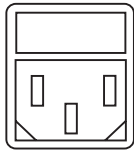
ローミッドFREQコントロールは、ローミッドのイコライザーが作用する周波数範囲を100Hzから2KHzまで連続的に調整を与えます。

ハイミッドFREQコントロールは、ハイミッドのイコライザーが作用する周波数範囲を400Hzから8KHzまで連続的に調整を与えます。

トレブルBELLスイッチは、トレブルイコライザーを、伝統的なMIDASシェルビング反応から完全なパラメトリックオペレーションに換えます。

トレブルFREQコントロールは、トレブルのイコライザーが作用する周波数範囲を1KHzから20KHzまで連続的に調整を与えます。

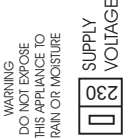
REPLACE FUSE WITH
CORRECT TYPE ONLY
FUSE 5x20mm
1500mA/250V
50-60Hz 30VA
ATTENTION RISQUE
DE CHOC ÉLECTRIQUE
PAS ENLEVER
REMPLEZER PAR UN
FILIBRE DE MEME TYPE



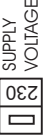
CAUTION SHOCK HAZARD DO NOT REMOVE COVERS



CAUTION
THIS
EQUIPMENT
MUST BE
EARTHED



WARNING
DO NOT EXPOSE
THIS APPLIANCE TO
RAIN OR MOISTURE



SUPPLY
VOLTAGE



AUTOMUTE INPUT



AUTOMUTE LINK

REMOTE CONTROL
AUTOMUTE ASSIGNS



INSERTION POINTS
RIGHT
RETURN SEND



RIGHT OUTPUT



RIGHT LINK INPUT



RIGHT INPUT



LEFT OUTPUT



LEFT LINK INPUT



LEFT INPUT

XL42 technical Specification

Input Impedance	Mic	2k Balanced
	Mic + Pad	3k Balanced
	Link & Insert	20k Balanced
Input Gain (all faders at 0dB)	Mic	Continuously variable from +15dB to +70dB
	Mic + Pad	Continuously variable from -10dB to +45dB
	Link & Insert	0dB
Maximum Input Level	Mic	+ 6dBu
	Mic + Pad	+ 26dBu
	Link & Insert	+ 21dBu
CMR at 1kHz	Mic (gain + 60dB)	> 70dB
	Mic + Pad (gain +35dB)	> 50dB
	Link & Insert	> 60dB
Frequency Response (20 to 20kHz)	Any input	+ 0dB to - 1dB
Noise (20 to 20kHz)	Mic EIN ref. 150 Ohms (gain + 60dB)	- 129dBu
	Transformer Mic Input EIN ref. 150 Ohms (gain + 60dB)	- 127dBu
	System Noise at 0dB (one channel only)	- 88dBu
	Summing Noise (12 channels routed with faders down)	- 83dB
System Noise (20 to 20kHz)	Line to Mix Noise (12 channels routed at 0dB, pan centre)	- 81dB
	Summing Noise (48 channels routed with faders down)	- 81dB
	Line to Mix Noise (48 channels routed at 0dB, pan centre)	- 75dB
	Distortion at 1kHz	Mic (+ 60dB gain, 0dBu output)
	Link (0dBu)	< 0.03%
Output Impedance	All Outputs	50 Ohms Balanced Source to drive > 600 Ohms
Maximum Output Level	All Outputs	50 Ohms Balanced Source to drive > 600 Ohms
Metering	Type	10 led peak reading

Equaliser	Hi pass slope	12dB / Oct
	Hi pass frequency	Continuously variable -3dB point from 10Hz to 400Hz
	Treble Gain	Continuously variable + 15 dB to - 15dB Centre detent = 0dB
	Treble Shelving Freq.	Continuously variable - 3dB point from 1k to 20k
	Hi Mid Gain	Continuously variable + 15 dB to - 15dB Centre detent = 0dB
	Hi Mid Freq.	Continuously variable centre from 400Hz to 8k
	Hi Mid Bandwidth	Continuously variable 0.1 Oct. to 2 Oct.
	Lo Mid Gain	Continuously variable + 15 dB to - 15 dB Centre detent = 0dB
	Lo Mid Freq.	Continuously variable centre from 100Hz to 2k
	Lo Mid Bandwidth	Continuously variable 0.1 Oct. to 2 Oct Centre detent = 0.5 Oct
	Bass Gain	Continuously variable + 15 dB to - 15 dB Centre detent = 0dB
	Bass Shelving Freq.	Continuously variable - 3dB point from 20Hz to 400Hz
	Bass Bell Freq.	Continuously variable centre from 20Hz to 400Hz
	Bass Bell Bandwidth	Continuously variable 0.1 Oct. to 2 Oct Centre detent = 0.5 Oct
Automute System	Channel Quantity	8
	Mute ON Voltage	+3 to +20V
	Mute Off Voltage	-20 to +2V
	Mute Line Load	>500K
Power	Nomianl Mains Voltage	100/110/120/220/240 50/60Hz
	Voltage Tolerance	10%
	Mains Consumption	<15VA
	Mic Phantom Voltage	48V + or -5%
	Max. Phantom Current	>10mA
Dimensions	Width	482mm (19 inch)
	Depth	250mm (10 inch)
	Height	44mm (1.75 inch)
Weight	Unit	3.5kg
	Shipping	5.5kg
Options	Mic Transformer	Factory Specified Only
	Output Transformer	Factory or Retro-fit



Midas Consoles Japan Division ダイヤルイン : 03-6661-3801
URL.<http://www.midasconsolesjapan.com> Email.info@midasconsolesjapan.com



本 社 〒 130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826
大阪営業所 〒 531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164
URL.<http://www.bestecaudio.com> Email.info@bestecaudio.com

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります